

湯本駅周辺のまちづくりに関する市民説明会 議事要旨

■ 日 時

令和6年11月29日（金） 18:30～20:00

■ 場所

常磐公民館 第2会議室

■ 次第

- I. 開会
- II. 出席者紹介
- III. 挨拶（いわき市 総合政策部 創生推進課長）
- IV. 湯本駅周辺のまちづくりについて

資料1-1、1-2

- I. 常磐地区の現状と課題～計画づくりの経緯～
- 2. 湯本駅前の再生に向けて～一体的な空間の中で民間・公共の機能を配置～
- 3. 湯本駅前のイメージ～交流拠点・共同利用エリアの整備方針の検討～
- 4. 事業の進め方
- 5. 質疑応答
- V. その他
 - 1. 湯本駅周辺土地区画整理事業に関する窓口の設置について
 - 2. 常磐地区 まちなみ景観づくり 取組みのご紹介
 - 3. 新・いわき湯本温泉コンテンツ創造ワークショップについて
 - 4. 「湯本駅前みゆきの湯公衆浴場」の廃止について
 - 5. 質疑応答
- VI. 閉会

資料2

資料3-1、3-2

資料4

■ 質疑応答の概要（要旨） ○：参加者 ⇒：事務局

IV. 湯本駅周辺のまちづくりについて

- この計画は、住民からの意見があつて行われているのでしょうか。自分自身はあまり望んでいないことで、人口が減少する中で、ハコモノをつくるのはどうなのでしょうか。経緯を教えていただけたいです。
- ⇒ 資料の7ページにありますが、令和3年5月に常磐地区市街地再生整備基本方針を定め、地元の方などの意見を聞きながら、湯本の駅前をどうしていくかという検討を進めてきました。人口減少が進む中、今ある公共施設をそのまま維持することは困難なため、必要な機能を残しながら公共施設を集約し駅前に整備することで、公共施設に来る方もにぎわいの一助となり、観光客も含めて駅前の賑わいにつなげていきたいといった声を受けながら進めてきたものです。
- 具体的にはどういった方からの声なのでしょうか。
- ⇒ まちづくり検討会に参加していた、じょうばん街工房 21、いわき湯本温泉観光協会、いわき湯本温泉旅館協同組合、まちづくりビューロー、財産区、商工会議所、PTAなどの代表者の方に意見を聞いてきました。
- 住民としてどこで言えばよかったのかと思っています。いわき駅前や小名浜のように立体的な建物があることでの弊害もあると思います。これから子供達や高齢者にとって安全で安心な場所が大事だと思いますので、住民の声を反映していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
- 駐車場が道路を挟んだところにありますが、右折と左折の動線によって動きがとりづらくなりませんか。
- ⇒ 交通量調査などを踏まえ、問題ないと判断しておりますが、ご心配の声もあるため、道路の表示などでの対応を考えています。
- 車だけでなく、歩行者も多くなり危険ではないでしょうか。
- ⇒ 計画段階ですが、交流拠点施設エリアにもおもいやり駐車場の整備を検討しております。基本的な考えとして、歩行者が滞れる場所を多く生み出したいという考え方のもと道路や駐車場の配置を検討しております。立体駐車場への横断については、横断歩道や信号の設置などについて検討を進めます。
- ラトブのように、地下を設けたり建物を高くするなどすることも考えられると思います。
- 駐車場と横断の問題、信号の付け替えにより事故が増えるのではないかということはこれまでずっと市の方に言ってきました。また、市民の意見をどこからどういう風に聴取したのかについて調べたところ、街工房さんといわき市さんが話ををしていただけで、いわき市とパートナーシップ協定を結んでいる街工房 21さんは、市民の意見を徴取していなかっただけが分かり、その点を県の審議会で指摘して、関係部署の方にも指摘したのに、同じ説明をしているのが不可解です。
- 湯本駅前は、令和元年の台風19号や昨年の線状降水帯により、大きな浸水被害を受けていますが、その対策について一切説明がありません。御幸山の周辺住民も土砂災害警戒区域に建物を建てるの

か、法面の補修工事はいつやるのかについて言っています。

- 80件以上の情報開示請求をしてエビデンスに基づいてお願ひしていますが、それに対する回答が一切ありませんので、何かしら回答をお願いします。

⇒ 水害対策につきましては、地元の方しかわからない情報もあるため、今後ヒアリングを行い、調査を行い、設計を進めます。

- じょうばん街工房21の方にヒアリングをしていたわけではないんですか。

⇒ 水害対策に関するヒアリングは実施していません。どこに水が溜まりやすいのかなど、全体的に網羅したうえで排水計画を進めていきます。

- その予算は立てていないですね。

⇒ その予算も含めた事業計画書となっています。地元の調査や詳細設計を進める上でヒアリングが必要となりますので、それを踏まえて設計を進めていきます。

- その費用は80億円に含まれているんですか。

⇒ その通りです。

- ヒアリングを行う地元の人は誰を対象としていますか。

⇒ 道路沿線に住んでいる方などに聞いて回ることを考えています。

- いろんな人から話を聞いたというんですが、誰が望んだ計画なんだろうと思います。本当に意見を聞いたのかと疑問に感じます。

⇒ 各種団体の方々に意見を聞いてきました。人口が減少する中、まちをコンパクトに集約していくなければ、まちとして保てないという考え方のもと、今までと同じような公共施設の配置も難しいです。商業施設についても同様です。湯本に限らず、コアとなる地区に都市機能を集約するというまちづくりの考え方です。また、市営天王崎団地の解体に伴い、ただの更地になってしまってはにぎわいが低下してしまうことから、駅前を再生していくために検討を進めてきたものです。

- これまでの検討経過などを動画などで公表していますか。若い人などはこのような説明会に来ることはほとんどなく、クローズドに感じてしまうので、もう少しオープンな感じで実施してほしいです。

⇒ これまでの経過は市のホームページに資料を公開していますが、その資料を見るかという話もあり、伝わらなければ意味がないため、いただいた意見を参考に、情報の発信について検討していきます。

- 関船体育館などは耐震性をあげるために工事をしたはずだが、壊してしまうのでしょうか。交流拠点施設には多目的ホールと書いてあるが、運動する場所がなくなってしまうのではないでしょうか。

⇒ 利用している方はいますが、人口減少が進む中で、老朽化により建て替えの時期に来ていますが、同じ規模で維持していくのが困難な状況です。また、旧耐震基準の建物の耐震性を向上させるために工事はしましたが、耐用年数を伸ばすような工事をしたわけではないです。

- 資料9ページにある「公的不動産利活用事業」とはなんですか。

⇒ 施設を駅前に集約後の跡地をどのように利活用するか、民間に活用してもらう場合に、どういっ

た機能が望ましいかを検討するものです。

V. その他

《2. 常磐地区 まちなみ景観づくり 取組みのご紹介》

- 昨年、吹の湯でシンポジウムがあり、その際のアンケート結果が公表されていません。その結果が公表されていれば、もう一步進んだ議論ができたのではないかと思います。

《4. 「湯本駅前みゆきの湯公衆浴場」の廃止について》

- 常磐興産が外資に売り渡されてしまいます。常磐湯本温泉(株)の株を外資が持つとなると、温泉料金が上がると予想され、まちの再開発に伴い温浴施設を民間に委託した場合に、利用料があがることで公共性が低くなる恐れがあります。また、ハワイアンズがなくなってしまう可能性があり、いつまでもフラのまちと言っていくことはどうなのかと思います。
- ⇒ さはこの湯などの公衆浴場は委託ではなく利用料金制で運営しております。交流拠点施設へ導入を検討している温浴機能については民設民営で検討を進めております。
- ⇒ 市や事業者は、権利を所有している常磐湯本温泉(株)が温泉を汲み上げそこから購入しております。株主構成は常磐興産（株）が50%、いわき市が30%、いわき市常磐湯本財産区が20%です。報道発表では、施設のブランドや雇用は維持すると聞いていますが、温泉料金が上がるかどうかは現時点では不明です。